

京極読書新聞 <第108号>

発行日 令和2年9月30日(水)
京極町生涯学習センター湧学館



京中生にインタビュー



令和元年度京極町読書感想文コンクールで入選した中学生に
読んだ本のことや学校生活についてなどをお聞きしました。
今の中学生はどんな本を読んでいるのでしょうか？
(書面でインタビューに答えていただきました)

高木美白さん
(3年)



高木祐実さん
(3年)



森悠斗さん
(2年)



小幡真大さん
(2年)





小幡 真大さん(2年) 「わたしの苦手なあの子」



- ▶本の中でミヒロはリサを克服したいという目標を立てていましたが、小幡さんは何か克服したいものはありますか？

小幡) 私は、直ぐあきらめてしまうので、あきらめなくて挑戦できるようになりたいです。

- ▶この本で気に入っている場面を教えてください。
(私は、おじいさんのおねしょの話にほっこりしました)

小幡) 主人公のミヒロと吉岡君とリサの3人でプールに行く場面です。

- ▶どうしてリサはトラウマになっていたプールに行けたのでしょうか？

小幡) 主人公のミヒロや吉岡君がついていてくれて心強かったからだと思います。

- ▶前の学校で仲が良かった「あやか」はどうして離れてしまったのだと思いますか？

小幡) リサと一緒に居たら自分もいじめられると思ってしまったのだと思います。

- ▶最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

小幡) 「君の膵臓を食べたい」

- ▶中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

小幡) 楽しかった思い出は宿泊研修です。色々な事が学べて良かったです。

- ▶インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「わたしの苦手なあの子」
朝比奈蓉子／作
(ポプラ社, 2017)

ミヒロのクラスに来た転校生・リサは、ツンとしていてみんなから浮いている。でもある日、ミヒロはリサの秘密を知ってしまう。その夏、ミヒロは苦手なりサを克服することに…。



森 悠斗さん(2年)

「こんな夜更けにバナナかよ」



- ▶もし森くんが鹿野さんと同じような病気になったら、鹿野さんのように行動できると思いますか？また、森くんと鹿野さんの違いはどんなところだと思いますか？

森) 同じ様な行動はできないと思います。理由は身体が動かないことに挫折していると思うし、親に頼ることなく、ボランティアの人と生活するのは大変で無理だと思うからです。鹿野さんは考えた事を直ぐ実行できる人ですが、自分は行動に時間がかかるのでそこが違いだと思います。

- ▶鹿野さんのボランティアの人たちに対して、どのように思いましたか？

森) ボランティアなのに夜遅くまで鹿野さんのわがままを聞いて、オセロをしたり将棋に付き合ったり本当に大変だと思いました。自分だったらそんなことはできないと思います。

- ▶どういったところで鹿野さんの生き方に強い信念があると感じましたか？

森) 変なところで意地を張るのではなく頼るところは頼るという生き方は大切な事だと感じました。鹿野さんのこういった生き方が好きです。

- ▶この本を読んで考え方が変わったそうですが、読み終わってからどのように考えるようになりましたか？

森) これからは人に頼ることも大切にしていこうと思った事です。ときには人に頼ることも大切なことだと思った事です。今までは自分一人でがんばろうと思っていたけどできないことを無理するのはだめだと思いました。

- ▶最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

森) 「100万回生きたネコ」という絵本がとても感動しました。

- ▶中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

森) 部活で先輩が引退し、自分達が引っ張っていく立場なので今は部活にとっても力を入れています。

- ▶インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！

「こんな夜更けにバナナかよ」
渡辺一史／著
(北海道新聞社, 2003)

人工呼吸器を着けながらも自由を貫いた重度身体障害者と、生きる手ごたえを求めて介助に通う主婦や学生ボランティア。筋ジス患者・鹿野氏と24時間体制で自立生活を支えたボランティア達の心の葛藤を描く。



高木 美白さん(3年)

「ワンダー」



▶この本を読む前に、本が原作となっている映画「ワンダー 君は太陽」を見たことがあります。そのきっかけは何でしたか？

高木) もともと映画を見るのが好きで、映画を探していたら「ワンダー君は太陽」が目にとまったからです。

▶映画と原作を読んで、それぞれで覚えている印象的なシーンを教えてください。

高木) 映画は、宇宙飛行士姿のオーガストが学校の廊下でスキップしながらみんなから歓声をあげている姿があって、しかしそれはオーガストの頭の中の姿であり現実はいじめられていたが最終的にみんなから認められたところ。理由は夢が現実になって見てる方も嬉しかったから。

本では最後にオーガストの母が「オギーはほんとうに奇跡。すばらしい奇跡」とささやいていて、そこが印象的でした。なぜかといえば、たとえ周りとは違う形で生まれたとしても家族のみんなは、周りと同じくらい愛してくれているということに感動したからです。

▶主人公オーガストの人間として好きなところがあれば教えてください。またオーガスト以外に気になった人物はいますか？

高木) いじめられても、立ち上がってあきらめない姿。オーガストが一人でご飯を食べていた時にサマーも一緒にご飯を食べてくれて、その勇気がすごいと思った。

▶この本を読んで感じたこと、気付いたことを教えてください。

高木) 家族のありがたさ友達の大切さがものすごく伝わりました。

▶最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

高木) 「ダンサー・イン・ザ・ダーク」という映画がおすすめです。実はあまり良いストーリーではなく観るのも辛いのですが。

▶中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

高木) 修学旅行が楽しかったです。いままでやったことのない体験をしたり、アイヌ文化を知れたことが思い出です。

▶インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「ワンダー」
R. J. パラシオ／作
(ほるぷ出版, 2015)

生まれつき顔に障害のあるオーガストは、10歳で学校に通うことになったが、生徒たちは彼の顔を見て悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて避けるようになる。一方で、オーガストの話面白がる同級生は少しずつ増えていき…。



高木 祐実さん(3年)

「私は私のままで生きることにした」



- ▶今回私もこの本を読ませてもらって、気づかされたことが沢山ありました。「2つ心にのこったことがあります」とありましたが、どんなことが心にのこりましたか？心にのこった理由も教えてください。

高木) 一つ目は、一番最初に書いた「人生で一番大切なのは、数字で表せないものの中にあるのだから」という一文。よく「ゆみは頭悪いからできませんよ」など否定をされることがあって、まったく関係のない事でもそう言われるから数字だけでは表せないこともあるって思いました。二つ目は「完璧な人生はない。」思いどおりの人生なんて楽しくないと思うからです。思いもしてなかった事がおこるから人生って楽しいと思うからです。

- ▶「色々な言葉が私を支えてくれた」とありますが、この本に出会ってどんな言葉が支えとなりましたか？

高木) 「自分ではない姿で愛されるくらいなら、ありのままの自分の姿で憎まれた方がましだ。」という一文。この一文は、読書感想文には書いていませんが、私が孤立していた時に、とても共感した一文です。にせものの自分で愛されるよりも、ありのままの自分の方が良いなと思いました。

- ▶この本を読んで、これからどのようなことに気をつけていこうと思いましたか？

高木) 題名のとおりですが「ありのままの自分で、にせものの自分をつくらない」ことです。

- ▶この本をどんな人に読んでもらいたいですか？

高木) 読んでみたいなと思った人に。また、周りに意見を合わせるのが疲れたという人、自分を見失ってる人にも見てもらいたいです。

- ▶最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

高木) 「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」です。

- ▶中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

高木) 修学旅行です。

- ▶インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「私は私のままで生きることにした」
キム スヒョン／作
(ワニブックス, 2019)

人と比べて何になる？あなたの人生で一番大切にしなきゃいけないのはあなた自身一。ふんわりとしたイラストと力強い言葉で、誰のまねもせず、誰もうらやまず、自分を認めて愛する方法を伝える。

「山吹」をめぐる(1)

〈『平家物語』を読む会〉*1 村山 功一

はじめに

『平家物語』が苦手だと言う人は、その理由の一つに登場人物の多さを挙げます。いま手元にある『平家物語』(以下、典拠とする書名を指す場合を除き『平家』と略称)注釈書巻末の人名索引をざっと数えたところ、八百人を超える人名が掲載されていました。もちろん、そのすべてが登場人物というわけではありません。しかし、実際に物語世界に登場する主要な登場人物だけに絞っても、二百は下らないでしょう。これでは、敬遠されても無理はないかと思えます。

ところで、その登場人物にしても、必ずしも実在の人物とは限らず、実在が確認できない人物や、存在自体が疑わしい登場人物も描かれています。「山吹」も、そんな人物の一人です。山吹の場合存在の有無どころか、『平家』全巻の中にたった二回名前が書かれるだけで、物語から姿を消してしまいます。*2

木曾は信濃を出でしより巴・山吹とて二人の美女を具せられたり。山吹は^{いたは} 勞りあつて都に留りぬ。
(巻九「木曾の最期の事」)*3

上の引用部分に二回名が出てくるだけで、これ以前も以後も全く山吹の名は見えません。山吹は、一体何のために登場したのでしょうか。

私は『平家』と関わって以来ずいぶん長いこと山吹に惹かれてきました。“美女”と書かれているからではありません。あまりにも謎だらけで、それゆえに魅力的だからです。

このたび、小原彦也氏*4 が京都三条通りにある“山吹の墓”を訪ね、写真を撮ってきてくれました。これを機に、改めて山吹の謎と魅力に迫ってみたいと思います。



▲「山吹御前之墓」



▲「同宝^{きょう}篋印塔」

木曾義仲と二人の美女

いささからブストーリーめいたタイトルですが、そうではありません。先に引用した本文に〈～二人の美女を具せられたり〉とあるので、(信濃を出陣するときから、二人の美しい女性を伴った木曾義仲)をイメージしてしまいます。ところが、ここに書かれた“美女”は「美しい女性」という意味ではないのです。この“美女”は、武家に仕える女性の、一種の職名です。下級の侍女、召使いの呼び名で、もともとは“非上”と書きます。その宛て字が“美女”ということなのだそうです。^{つか}*5 このほかに、“便女”、^{びんぢょ}“未女”とも書きます。彼女たちは、平時には主人の給仕や身の回りの世話をし、合戦の際には主人に従って戦闘に参加したといえます。したがって、山吹も巴も召使いを兼ねた「女武者」として、義仲に同行していたというのが、先に引いた一節の意味なのです。

上の引用文の直後に、次のような文があります。

中にも、巴は色白う髪長く、容顔まことに美麗なり。(同上)

巴の容姿、容貌についての描写ですが、やや紛らわしい表現です。ここは、〈(二人召使いの)中でも、巴は色が白く髪は長くて、その容貌は特に美麗だった〉と訳さなければなりません。上記引用本とは別の本には、

木曾殿は信濃より巴・山吹とて、二人の便女をぐせられたり。^{まぎ}*6

とあるので、美女イコール便女であることが、ハッキリします。

ついでながら、古語「美し」は現代語の“美しい”という意味ではありません。肉親や幼いもの、小さいものに対し“いとしい、かわいらしい”という感情を表す語です。

『枕草子』に〈～何も何も小さきものはみなうつくし〉(151段)とあります。現代語の“美しい”を表す古語は「麗し」です。

【注】

- *1 同会(以下〈読む会〉とします)は、目標としていた全巻読破を達成し、昨年3月に閉会。
- *2 『平家』の諸伝本の中には山吹の名が全く書かれていない本や、「葵」という別の名を書く本もある。
- *3 寛文十二(一六七二)年刊の流布本を底本とした佐藤謙三校註『平家物語』による。
- *4 〈読む会〉のメンバー。出身地の関西帰省のたびに、周辺の『平家』関連史跡蹟をめぐり貴重な情報を提供してくれている。
- *5 富倉徳次郎『平家物語全注釈』で解説。
- *6 覚一別本を底本とした杉本圭三郎全訳注『平家物語』による。



読書の秋～湧学館からのお知らせ～

①蔵書検索ページがリニューアルしました！ パソコンからもスマートフォンからも同じアドレスで使えます

予約したい本を選んでおく『予約かご』機能が追加されました。湧学館で借りた本やお気に入りの本を記録できる『マイ本棚』機能、あらかじめ設定されたキーワードに合った新着本をメールでお知らせする『新着案内配信サービス』もこれまでどおり利用できます。利用にはログインが必要です。パスワードをお持ちでない方は図書カウンターで発行しますので、お気軽にお申し出ください。



新アドレスはこちら→ <https://ilis005.apsel.jp/lib-kyogoku.jp>

②Free-Wifi（無線LAN）が利用できるようになります！*10月中開通予定

以前からお問い合わせの多かった無線LANを設置します。ご利用は1回につき1時間で、再接続すれば何度でも利用できます。ご自身のメールアドレスでのログインが必要になります。利用について詳しくは図書カウンターへお問い合わせください。



京極読書新聞のバックナンバーは湧学館で配布しています。
また、湧学館ホームページにも掲載していますので、どうぞご覧ください。

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.jp>

